

河口砂州の変遷と現状

阿賀野川河川事務所

平成28年3月

・阿賀野川の河口砂州は長期的に形状を変化させています。



・河口部の状況を把握するため、水位観測、ライブカメラによる監視、航空写真撮影、地形測量を実施しています。



モニタリング項目	観測時期・目的
水位観測	洪水中の河床面の挙動の把握のため常時観測。
ライブカメラ	洪水中の砂州形状の変化を把握するため常時監視。
航空写真撮影	洪水や冬季風浪による砂州形状の変遷を把握するため実施。
地形測量	洪水や冬季風浪による砂州形状や水面下の河床状況を把握するため実施。



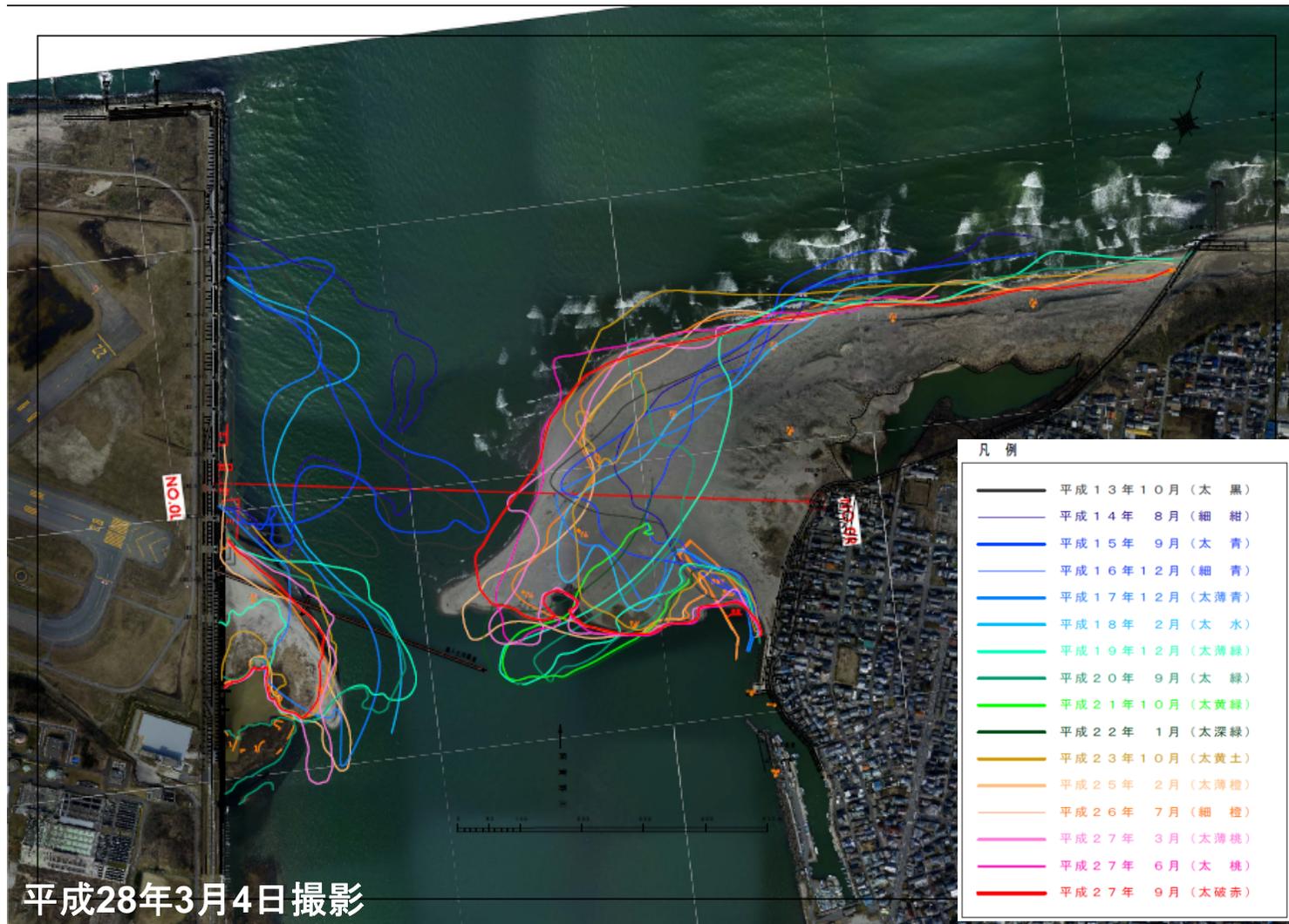
凡例
 ● : ライブカメラ設置箇所
 ● : 水位観測箇所

平成28年3月4日撮影

0 400 800m
S = 1:10,000

- ・地形測量により、阿賀野川の河口砂州は、長期的に繰り返し形状を変化させていることを確認しています。
- ・河口砂州は地形測量や航空写真などから過去の大洪水の時に流されていることを確認しています。

河口砂州の汀線変化



洪水による砂州のフラッシュの有無

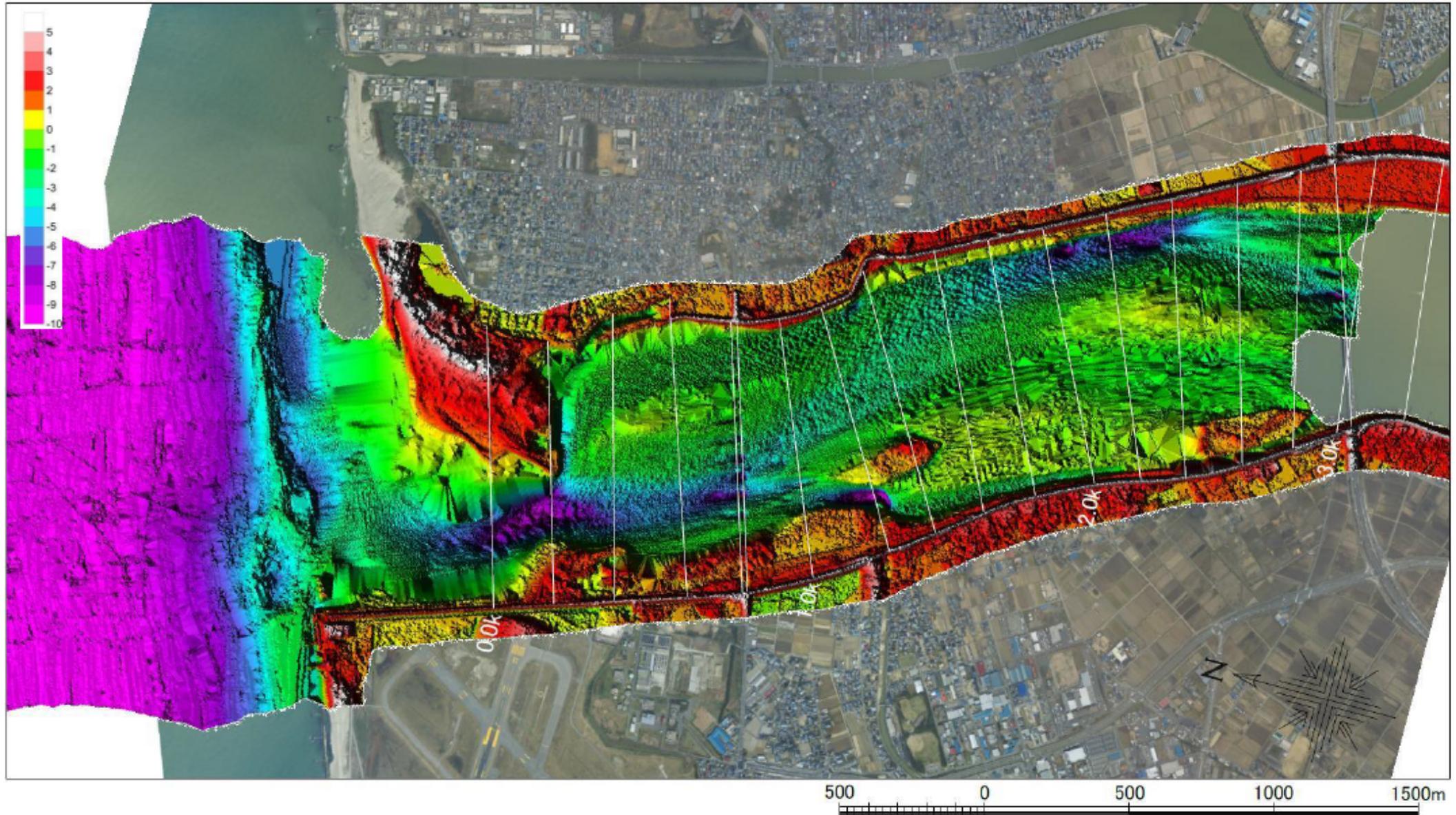
年月日	フラッシュの有無
S.53. 6.27	○
S.54. 7.28	×
S.56. 6.22	○
S.56. 8.23	×
S.57. 9.13	○
S.63. 7.10	×
H. 5. 8.28	×
H. 7. 7.17	○
H. 7. 7.22	
H. 7. 8. 3	○
H.10. 8. 4	
H.10. 9.16	○
H.14. 7.11	○
H.14.10. 2	×
H.16. 7.13	○
H.23. 7.30	○
H.26. 7. 9	○
H27.9.10	○

※フラッシュとは砂州が洪水により流される現象の事を指します。

・観測史上最大の洪水となった平成23年7月新潟・福島豪雨では洪水前後の航空写真により砂州が流されていることを確認しています。



- ・地形測量により水面下の河床状況を把握しています。
- ・阿賀野川河川事務所では河口砂州の動態を監視し、必要に応じて掘削を実施しています。



阿賀野川河口付近の様子(平成27年2~3月地形測量)